

第4回 (一社) 電力需給調整力取引所 運営委員会 議事録

1. 日 時：2024年12月2日(月) 15:00～15:55

2. 場 所：オンライン開催

3. 委員一覧(出席者)：

	氏 名	所 属
	阿部 一人	四国電力送配電(株) 企画部 副部長 兼 技術計画グループリーダー
	稲森 悦郎	九州電力送配電(株) 系統技術本部 運用計画グループ 課長
	太田 泰俊	北陸電力送配電(株) 電力流通部 広域運用チーム 統括課長
	岡田 怜	東京電力パワーグリッド(株) 系統運用部 広域給電グループマネージャー
	小柳津 政勝	東北電力ネットワーク(株) 電力システム部(給電) 課長
	鹿野 祐介	関西電力(株) エネルギー需給本部 電力取引グループ チーフマネージャー
	川口 公一	一般社団法人エネルギーリソースアグリゲーション事業協会 会長理事
	川崎 斉司	大阪ガス(株) 電力事業部 電力事業推進部 市場取引チーム マネージャー
	工藤 芳揮	旭化成(株) 環境ソリューション事業本部 エネルギー総部 エネルギー戦略推進部 エネルギーセンターグループ グループ長
	倉田 裕太	(株) J E R A 最適化統括部 統合ポートフォリオ戦略部 市場制度ユニット ユニット長
	新谷 宏治	北海道電力ネットワーク(株) 工務部 広域システムグループリーダー
◎	菅原 健一	中部電力パワーグリッド(株) 系統運用部 給電計画グループ グループ長
○	高間 康弘	関西電力送配電(株) 系統運用部 給電制度グループ チーフマネージャー
	鳴瀧 匡彦	東京ガス(株) 電力事業部 電力トレーディンググループマネージャー
	西本 英彦	中国電力ネットワーク(株) 企画部 市場整備グループ マネージャー
	平尾 宏明	一般社団法人エネルギーリソースアグリゲーション事業協会 副会長理事

※五十音順、敬称略、◎は委員長、○は副委員長



EPRX

一般社団法人電力需給調整力取引所
Electric Power Reserve eXchange

4. 議 題：

- (1) HP 上の公表情報の充実に向けた取り組みについて（運営委員会への意見募集結果）
- (2) 2025 年度の売買手数料単価に係る意見募集結果（速報）について

5. 議事内容：

(1) HP 上の公表情報の充実に向けた取り組みについて

事務局より HP 上の公表情報の充実に向けた取り組みについて以下の説明があり、運営委員会としての意見を確認した。

- ・ EPRX では、市場取引の実態をより分かりやすくご理解いただけるよう、また市場取引の活性化を目指し、ホームページの公表情報の充実に取り組んでいる。
- ・ 今後の更なる公表情報の充実に向けて、第 3 回運営委員会（11 月 1 日開催）において、委員に対し、取引実績の追加公表項目および HP への追加掲載情報に関する意見募集を実施。その結果を踏まえ事務局にて対応方針案を検討したため、フィードバック。

【対応方針（案）】

<公表する取引実績の追加項目>

項目	対応方針
電源種別	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 全国計で公表 広域エリア単位での公表については、要望が多い場合に検討 ✓ 電源種別：火力、水力、揚水、蓄電池、VPP ※電源特定の可能性については継続確認 なお、水力、VPP については、それぞれリソース数が僅少であることから、公表方法について（公表しない選択肢も含めて）検討
複合商品	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 商品の組み合わせ毎の入札・約定実績の公表は、公表項目が大幅に増加することから、技術面・費用面を含めて実現可否を検討
グラフ表示機能	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 表示項目 1, 2 で異なる商品区分を選択できる機能の追加

<HP への追加掲載情報>

項目	対応方針
需給調整市場に関する解説資料を追加	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 需給調整市場の理解促進に資する解説資料を作成する方向で検討（事務局案通り）

川崎委員：HP への追加掲載情報の「需給調整市場に関する解説資料」に関して、市場運営者である EPRX として、市場参加者のリテラシー向上に寄与していくことは重要であるため、電力・ガス取引監視等委員会の所管かもしれないが需給調整市場ガイドラインの遵守について積極的に取り上げていただくことはできないか。例えば、EPRX のホームページにガイドラインのリンクを掲載して周知することや、解説資料にガイドラインの案内を記載することなどが考えられる。

川口委員：複合商品の各商品の組み合わせ毎の実績公表について、全組み合わせとなると公表項目が大幅に増加するという事務局意見は理解。例えば、全商品に対応できるような複



合電源をベースに示してもらうことを検討していただくことは可能か。

倉田委員 : 今回の意見募集を踏まえた対応方針案について異存はない。特に電源種別の項目については、前回の運営委員会で申し上げた意見に対して、事務局にて費用対効果を踏まえて精査いただいたものと理解。公表情報の充実については、制度見直しや市場動向によって市場関係者の要望を考慮して、引き続き試行いただけると幸い。

菅原委員長 : 3名の委員の意見に対し、事務局からコメントをお願いしたい。

事務局 : まず川崎委員からのご意見については、ご指摘のとおり市場運営者としても重要な点と認識。ご示唆いただいたとおり、ホームページ上の「よくあるご質問」にガイドラインのリンクを掲載することや、解説資料の中に取り込むことを検討していきたい。

川崎委員 : マーケット参加者のリテラシー向上に寄与する取り組みであるため、是非お願いしたい。

事務局 : 市場監視は市場運營業務の一つであるため、重要な観点と認識。現時点でのホームページ上の公表という点に限れば資料に記載のとおり対応方針となってしまうが、電力・ガス取引監視等委員会とも連携してGL等市場参加に係るルール、考え方の周知・理解活動についても引き続き検討してまいりたい。

事務局 : 次に川口委員のご意見について、ご認識のとおり複合商品の全組み合わせとなると、パターンが多くなる。いただいたご意見も踏まえ、提示可能なパターンを検討してまいりたい。

川口委員 : よろしく願います。

事務局 : 最後に倉田委員のご意見については、まずは全国計で電源種別を公表し、ご要望を踏まえ今後の公表方法を検討してまいりたいと考えている。

菅原委員長 : 事務局の対応方針案に対し、特段の異論はなかったと認識。事務局においては本日の委員からのご意見も踏まえながら詳細検討を進め、2月の本委員会で改めて委員の皆さまにご確認いただくよう進めていただきたい。

(2) 2025 年度の売買手数料単価に係る意見募集結果（速報）について

事務局より、2025 年度の売買手数料単価に係る意見募集結果について、以下の情報共有があった。

- ・ 2025 年度売買手数料単価の見通しを公表し、11 月 18～29 日に事業者向け意見募集（パブリックコメント）を実施した結果、2 事業者より 6 件の意見を受領。
- ・ 詳細な対応検討等を要しないことから、委員の感触を確認し、関係各所（資源エネルギー庁、電力・ガス取引監視等委員会等）へ共有のうえ、前倒しての意見募集結果公表等も含め検討。

事業者意見（要旨）	回答案（要旨）
システム改修費等の費用増加の予見性はないのか。	想定費用（の増加）については、ある程度予見できる部分が多い。一方で想定約定量については、予見が困難な状況が続いており、更に早期に見通しをお伝えすることで、却って不正確な見通しをお伝えすることにもつながりかねない。 より透明性のある市場運営の観点から、予見性向上につながるお伝えの仕方や、手数料体系の見直しなど、引き続き検討していく。
手数料増加に伴い、 Δ kW 上限価格への反映はないのか。また入札価格へ反映する必要もないのか。	仮に 2025 年度以降も上限価格が継続される場合は、売買手数料単価の変更を反映すべきと思料。 また需給調整市場ガイドライン上、 Δ kW 価格には売買手数料を織り込むことが合理的である旨明示されている。
手数料の引き上げにより市場参入のハードルも引き上がるため、見解を伺いたい。	同上
応札不足量を織り込んでいる一方、人的費用やその他の費用が圧縮されていない理由を伺いたい。	2024 年度からの法人化に際し、必要最低限の体制で業務を開始し、中長期的な視点から体制強化を進めている現状。必要な範囲で若干の費用増加等の可能性もある。 ただし聖域を設けず、予断を持たず、事務費用等の削減に努めてまいる。
想定応札量は 2024 年度実績ではなく、2025 年度以降の緩和施策を織り込むべきではないか。	想定約定量は、直近の約定量実績等を基に想定値を作成するが、明確かつ大きな変動要素が新たに判明した場合も含め、増減いずれの変動要素も、現時点において考慮から排除するものではない。 算定時点で、確認できる変動要素の影響度や確度を踏まえ、合理的な約定量想定値とする。
諸元の内訳について、最新値に見直す時期と、何を参照する予定かを伺いたい。	翌年度の売買手数料単価は、これまで毎年度 3 月に公表していたが、2025 年度は大きな単価変更も見込まれるため早期の決定・公表を検討。一方で、できる限り最新の情報を反映する前提で検討。 想定費用については予算策定にも用いる計画値等を、想定約定量については直近の約定量実績と変動要素等を踏まえて算定する。



菅原委員長：この場で委員から特段の意見がなくても、会議後に事務局へ意見をお寄せいただきたい。事務局においては、回答案の作成および理事会への付議をお願いします。

菅原委員長：以上をもって、本日の議事を終了する。

以 上